

第19回近畿Jr空手道選手権大会

～全日本武神ランキングポイント大会、日本武道振興会チャンピオンカップ指定大会～

【主催】 国際空手拳法連盟 聖武会館

【日時】 平成29年4月30日(日) 9:00開場 9:45 開会式

【場所】 尼崎ベイコム総合体育館メインアリーナ
※駐車場の収容台数が少ないため、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。

【試合形式】

- ・JKJOルールに準じます。(上段ひざ蹴りは年長・小学生・中学生初級は反則、中高生は有効。)
- ・ビギナークラス・チャレンジクラスは拳サポーター、レッグガード、ファールカップ、ひざサポーター(小3以上義務)を必ず着用。拳サポーター、レッグガードは布製に限ります。極端に薄いものは使用不可。
- ・上級クラスに出場する選手は必ずJKJO指定の拳サポーター(高校生はパンチンググローブ)レッグガード、ひざサポーター(小3以上義務)を着用してください。JKJO指定品でなければ試合に出場できませんので、ご注意ください。
- ・男子のインナーTシャツは禁止
- ・女子のインナーTシャツは白色のものを着用してください。またチェストガードについて、小3以上は義務ですが、腹部まであるものや硬質のものは禁止です。

【クラス】

- ビギナークラス…初出場・大会未入賞の選手(緑帯以上不可)※指導者は怪我防止の為、厳守願います。
幼児(男女混合)・小学1年～6年(各クラス男女別)・中学男子・中学女子
- チャレンジクラス…クラス分けの無いオープンクラス大会での未入賞者
幼児(男女混合)・小学1年～6年(各クラス男女別)・中学男子・中学女子
- チャンピオンクラス(上級クラス)
幼児男子・幼児女子
小学1年～6年 各学年男子(3年～6年は体重別)
小学1年～6年 各学年女子(4年～6年は体重別)
中学男子(体重別)・中学女子(体重別)高校男子(体重別)高校女子(体重別)

※チャンピオンクラスの出場者には成績に応じて全日本武神ランキングポイントが付与されます。ランキングポイントの付与は原則、武神加盟団体に限りませんが、本年度より導入の個人登録制度により武神非加盟団体の選手にも適用されることとなりました。個人登録制度の詳細につきましては武神HPをご覧ください。
※チャンピオンクラスの入賞者は「日本武道振興会 第6回CHAMPION CUP空手道選手権決勝大会」(2018年3月開催)の出場権が得られます。(参加の可否は自由です。)
※ビギナークラスは大会初出場及び未勝利に限ります。(くれぐれも厳守してください。)
※クラス分けのないオープン大会で入賞(3位以内)経験のある選手はチャレンジクラスのエントリーは不可。
※当日の軽量で僅かでも規定の体重をオーバーした選手は失格となりますので、くれぐれもご注意ください。
※チャンピオンクラスで参加人数が1名の場合は試合不成立のため、参加費をお返しいたします。

【選手受付】 団体受付です。ゼッケンは当日お渡しいたします。
<kg未満クラス>に出場の選手はゼッケン受取後計量受付にて速やかに計量をお願いします。

【参加費】 6,000円(昼食なし・スポーツ保険は各自加入)

【注意事項】

- ・アップを行う際はサブアリーナをお願いいたします。1Fフロアの使用は禁止です。
- ・ゴミは必ず各自でお持ち帰りください。

【申込先】 国際空手拳法連盟 聖武会館 事務局

〒664-0874 伊丹市山田6丁目2-13 ☎072-783-3019 FAX 072-784-5718

【申込締切】 **平成29年3月25日(土) 必着**

※申込用紙と参加費は各団体ごとに現金書留にてお送りください。
※一旦納入された参加費はいかなる理由があろうとも返金いたしませんので、ご了承ください。

近畿ジュニア空手道選手権大会公式ルール

※ JKJOルールに準じます

《試合時間》

	1回戦～準決勝	決勝戦	インナーサポータ
ビギナークラス	本戦1分→ 延長1分(マストシステム)	本戦1分→ 延長1分(マストシステム)	○ (主催者準備)
チャレンジクラス	本戦1分15秒→ 延長1分(マストシステム)	本戦1分15秒→ 延長1分(マストシステム)	○ (主催者準備)
チャンピオンクラス (中学生迄)	本戦1分30秒→ 延長1分(マストシステム)	本戦1分30秒→延長1分 →再延長1分(マストシステム)	×
チャンピオンクラス (高校生)	本戦2分→ 延長2分(マストシステム)	本戦2分→延長2分→ 再延長2分(マストシステム)	×

※マストシステムとは → 必ずどちらかに勝敗が決まります。体重判定は行いません。

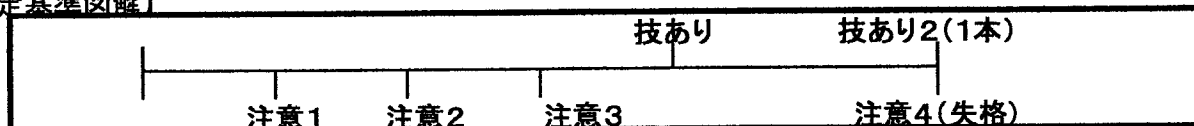
《判定規定》

- ①【一本勝ち】自滅も同様
 - A 打撃で一瞬でもダウン
 - B 3秒以上の戦意喪失
- ②【技あり】自滅も同様
 - A 完全に宙に浮かせ背中から転倒させた場合、下突きが無くても技あり
 - B 上段にクリーンヒット
 - C 一時的に動きが止まる
 - D 一時的に戦意喪失
 - E 下段蹴りで足をひきずる
 - F 腹部のダメージで体がくの字になる
- ③【反則】
 - A 掴み、掴んでからの攻撃、掛け、抱え込み
 - B 掌底押し、正拳押し、相手の体に手・胸を付ける
 - C 頭突き、頭をつけての攻撃
 - D 手技による顔面・首への攻撃、膝への関節蹴り
 - E 下腹部(帯より下、股関節より上)への攻撃
 - F 背後からの攻撃、倒れた相手への攻撃
 - G 故意に場外へ出る事、審判が判断した技のかけ逃げ
 - G 上段膝蹴り(小学生以下は反則、中学生以上は有効)
 - H その他審判が反則とみなした場合
- ④【失格】
 - A 注意4が与えられた場合
 - B 一度の反則でも相手がドクターストップになった場合
 - C 試合時間に遅れた時
 - D 審判員の指示に従わない時
 - E 試合開始から判定が下されるまでの嘔吐はダメージと見なされ失格とする
 - F 規定体重を超えていた場合

⑤【判定優先順位】

1本(失格) > 技あり > ダメージ > 有効打 > 攻撃数 > 積極性

⑥【判定基準図解】



《注意事項》

- A ヘッドガードは主催者側が用意いたします。チャンピオンクラスはマイヘッドガード(JKJO指定品)使用可。
- B サポーター類(全て布製)は各自ご持参下さい。ファールカップ・ひざサポーターも全クラス必要です。パッドの薄いものや危険と判断したものは主催者側準備品と交換させていただきます。
- C 上級クラスは、JKJO指定防具を義務とします。
- D 男子のインナーTシャツ・インナーサポーターは禁止。
- E 女子のインナーTシャツは白色のみ着用可。
また、チェストガードについては小3以上義務とします。(腹部まであるものや硬質のものは禁止。)
参加者は大会前に必ず医師の健康診断を受けてください。診断書の提出は不要です。

第19回近畿ジュニア空手道選手権大会 参加申込書

～全日本武神ランキングポイント大会、日本武道振興会チャンピオンカップ指定大会～

大会会長殿

平成 年 月 日

私議、下記の通り相違なく、本大会のルールに従い正々堂々と競い合う事をここに誓います。
又、本大会中における負傷・事故につきましては、主催者側にその責任の一切を問いません。

団体責任者 石川 昭 印

保護者氏名 _____ 印

フリガナ				男女	平成 年 月 日生		
氏名					才		
住所		〒 _____ () _____					
新学年		幼年・小学・中学・高校(新 年)			空手歴 年 ヶ月		
級段位 帯色		級 段 色 帯		身長		体重	
				cm		kg	
出場 クラスを○で 囲む。新学 年でのエン トリーとな ります。	チャンピオンクラス ・全日本武神ラン キング指定クラス ・第6回チャンピオンカ ップ決勝大会予選 ※JKJO指定防具着用	幼年男子・女子の部 ■小学1年男子・女子の部 ■小学2年男子・女子の部 ■小学3年男子(27kg未満・27kg以上) ■小学3年女子の部(体重制限なし) ■小学4年男子・女子の部(30kg未満・30kg以上) ■小学5年男子・女子の部(35kg未満・35kg以上) ■小学6年男子・女子の部(40kg未満・40kg以上) ■中学生女子の部(45kg未満・55kg未満・55kg以上) ■中学生男子の部(45kg未満・55kg未満・65kg未満・65kg以上) ■高校生女子の部(50kg未満・57kg未満・57kg以上) ■高校生男子の部(60kg未満・70kg未満・70kg以上)					
	チャレンジクラス ・クラス分けの無い オープンクラス大会 での未入賞者	■幼年男女混合 ■小学1年男子・女子の部 ■小学2年男子・女子の部 ■小学3年男子・女子の部 ■小学4年男子・女子の部 ■小学5年男子・女子の部 ■小学6年男子・女子の部 ■中学生男子・女子の部					
	ビギナークラス ・初出場・大会未入賞 者(緑帯以上不可)	■幼年男女混合 ■小学1年男子・女子の部 ■小学2年男子・女子の部 ■小学3年男子・女子の部 ■小学4年男子・女子の部 ■小学5年男子・女子の部 ■小学6年男子・女子の部 ■中学生男子・女子の部					
所属 流派名	極真会館 浜井派 道場			支部名	愛知 石川 道場		
大会入賞歴							

※○○(kg未満)クラスは、当日に計量を行います。申請体重及び各クラスの基準を超えている場合は失格となり
ます。又、出場する全ての選手は虚偽のないように正確に記入して下さい。

※出場選手は、各自で必ずスポーツ保険に加入のこ、主催者で加入しません。

試合中負傷または事故が生じた場合主催者は一切責任を負いません。